

植物新品種の保護

－ 育成者権の侵害立証とDNA品種識別技術との関係について－

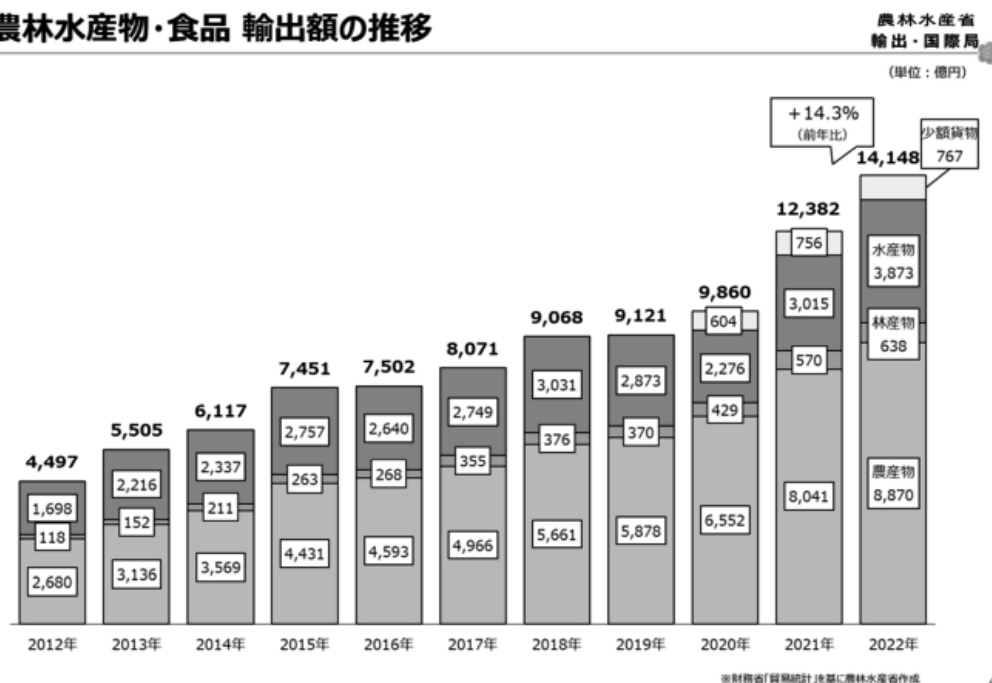


弁護士 伊原 友己¹

1 はじめに

令和4年（2022年）の農林水産物・食品の輸出額は、1兆4148億円（前年比14.3%増。その内、農産物は8870億円。）と過去最高を記録した。

農林水産物・食品 輸出額の推移



農林水産省ウェブサイト：「2022年の農林水産物・食品の輸出実績」4ページより
https://www.aff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/attach/pdf/230203-1.pdf

- 1 日弁連知的財産センター副委員長・弁護士知財ネット理事。日本弁護士連合会（「日弁連」と略称される。）には、知財分野の専門委員会として「日弁連知的財産センター」が設置されている。同センターは日弁連の知的財産分野の戦略本部的機能を果たすことが期待されており、その活動方針を踏まえて、国内外で活動するメンバー1000名以上を擁する「弁護士知財ネット」という組織（平成17年4月創設）が別働隊的・実践部隊的に全国津々浦々で活動するとイメージすれば分かりやすい。農水知財の分野についていえば、弁護士知財ネットでは平成28年9月に、また日弁連知的財産センターでは同年11月に、農水知財の面から農林水産業全般を支援するべくそれぞれに「農水法務支援チーム」という専門チームを編成し、車の両輪として農水知財法制の普及・啓発活動等で幅広く活動している。